

光化学応用講座
発光の最新測定技術：発光スペクトル、量子収率と励起寿命

主催 光化学協会
共催 複合系の光機能研究会
会期 2011年3月10日(木) 10時～17時
会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 蔵前会館3F 手島精一記念会議室
(東急 大岡山駅改札口より徒歩1分)
HP: <http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

【開催趣旨】

現在、発光素子の開発を国内外の大学や公的研究機関、関連企業がしのぎを削っていますが、発光測定法の最近の進歩を必ずしも十分に反映できていないようです。また最近、標準物質の発光量子収率の値が間違っていることが報告され、IUPACの無機化学セッションで発光量子収率測定法の標準化が進められています。このような背景があり、発光現象を定量的に評価する手法の講習は産業界からも希望の多い内容かと思われます。「発光量子収率測定法の最前線と標準物質の問題」に関する講義に加え、「発光寿命の測定法」、「EL等のデバイスにおける測定法」の基本的講義、また量子収率、寿命測定等の商品の紹介を合わせた1日の講習会を光化学協会主催の応用講座として開催します。

【内容】

(一部変更する可能性があります)

第1部 講義

発光スペクトルと量子収率測定の要点：飛田成史 群馬大教授
金属錯体の溶液中における発光測定の要点：石田斉 北里大准教授
希土類の発光測定の要点：長谷川靖哉 北大教授
固体状態における発光測定の注意点：加藤隆二 産総研主任研究員
発光寿命の測定法：野崎浩一 富山大教授
EL素子の評価法：市川 結 信州大准教授

第2部 装置の紹介(メーカーによる製品の特徴紹介)

発光量子収率、発光スペクトル、発光寿命の測定装置等
参加予定企業：浜松ホトニクス、大塚電子、堀場製作所、ユニソク、東京インストルメント

発光関係の商品の展示も合わせて行います。

参加申込締切 2011年2月25日(金)

参加費 光化学協会 正会員、賛助会員 12,000円
非会員 20,000円

(学生会員も申し込むことができますが、定員を超過した場合には賛助会員と正会員を優先します。参加費は12,000円です。)

定員 50名(定員に達し次第締め切ります)

参加申込方法 E-mailにて下記の問い合わせ先に(1. 氏名、2. 所属、3. 会員・非会員、3. 連絡先メールアドレス)を送信してください。参加費の支払い方法、詳しい内容等に関しては後ほどメールでご案内いたします。

問合先 東京工業大学 大学院理工学研究科 化学専攻 石谷 治
TEL&FAX: 03-5734-2240
E-mail: [ishitani \[at\] chem.titech.ac.jp](mailto:ishitani@chem.titech.ac.jp) ([at]を@変更して下さい)